

新年度予算及び組織改正等に関する説明について

1. 日 時：令和8年2月12日（木）18：00～19：00
2. 場 所：教育委員会会議室
3. 出席者：
 - （市）総務課長、総務課総務係長、教職員人事課長、教職員人事課係長、教職員給与課長、教職員給与課労務制度係長、担当1名
 - （組合）神戸教組 副執行委員長2名
 - 市高 執行委員長、書記長
 - 全教神戸 執行委員長、書記長
 - 自教労 執行委員長、執行委員
 - 市職教育支部 書記長
 - 市従教育支部 副執行委員長、書記長
4. 議題：新年度予算及び組織改正等について
5. 発言内容：

新年度予算・組織改正等について別紙に基づいて説明
以下、質疑応答

 - （組合） P2「①個別最適な学びと協働的な学びの充実」について、柔軟な教育課程を実施とあるが、教職員の働き方改革の観点はあるか。
 - （市） 今検討されている「調整授業時数制度」は、各学校の状況に応じて柔軟な教育課程を実施するという制度なので、教職員の働き方改革の観点は入っていない。
 - （組合） P9「(3)産業保健体制の充実」で医師1名増員とあるが、これは常駐すると理解してよいか。具体的に教えてほしい。
 - （市） 勤務される方の条件にもよるが、フルタイム勤務を想定した組織のポストである。
 - （組合） P2「④豊かな体験学習の推進」について、来年度から自然学校を二泊三日に減らすことで県の事業の補助金が減ることになるが、様々なプログラムの準備など、今までにはない教員の負担が増えるのではないかと危惧されている。また、学校間で学習内容に差がついてしまう可能性があるが、今回の当該予算は県からの予算が減る分について考慮されているか。
 - P6「④特殊な清掃業務の外部発注」の中にトイレの記載がないが、ドライ方式になってきているトイレの清掃が難しい状況があり、この予算を使うことは可能か。
 - P8「⑦スクールカウンセラーの設置～⑨スクールサポートスタッフの設置」について、例えばスクールサポートスタッフは3H×5日の15時間という配

置がされているが、これの増減はあるか。スクールソーシャルワーカーは一人体制の区もあるが、これについて拡充の予定はあるか。

(市) (P2「④豊かな体験学習の推進」について) 基本的には、県の予算が減った分について、特段、市の負担部分を増やしたことはない。教員の負担という点については、トラブル対応などはしやすくなるというメリットはあると考えている。学びの推進課も状況は把握しているので、今後検討していきたい。

(P6「④特殊な清掃業務の外部発注」) トイレの乾式化を進めているのは承知している。今後、学校経営支援課が当該予算を管理・執行していく予定だが、執行管理の中でそういった声が上がってきた場合に確認していきたい。

(P8「⑦スクールカウンセラーの設置～⑨スクールサポートスタッフの設置」について) 配置の拡充に関しては、予算上していない状況である。スクールカウンセラーの場合は希望の多い学校に重点配置する等柔軟な対応をしているが、スクールサポートスタッフについてはそういったことが難しく、全校一律配置としているが、一方で、学校によって繁閑に差がある一面もあり、今後どういったことができるか検討していきたい。

(組合) P6「④特殊な清掃業務の外部発注」について、これは全校実施か、希望を募って実施する形か。

(市) 考え方としては全校に実施していただくイメージであるが、学校によって状況が異なり、予算の割当ての考え方については学校経営支援課で検討していると聞いている。

(組合) P3「②いじめ未然防止学習等の推進」について、近年、SNS等にいじめの状況の動画が流れる等全国的に問題となっており、我々教員も心を痛めているが、その点について力を入れていただき感謝したい。いじめアンケートの電子化について、手書きであれば筆圧や文字の大きさ等で文字の裏にある真意を汲み取ることができるが、教員が声かけなどできる場合があるが、電子化されてしまうと機械的に入力するだけになり、そのようなことが難しくなってしまうと危惧している。一方で電子化により、集計等の手間などは教員の負担軽減の効果など良い面もあるが、他都市でこういった電子化が進んでいるか、分かる範囲で教えてもらいたい。

(市) 他都市の状況は把握できていないが、メリットとデメリットの両面があるものと思っている。教員の働き方の観点からは、データとして処理するには電子化したほうが大きなメリットがあり、見落としのリスクも減らすことができる。今後業者に委託し、システム構築をしていく予定であるが、他都市の状況も踏まえて、何が一番効果的か検討していきたい。

以上